

2024年度一般選抜(学部学科試験・共通テスト併用方式)
記述式問題 解答例

学部・学科:2月7日 文学部 史学科

問1

特定の政治勢力が自分たちの目的や主張を正当化するために、過去の記憶や歴史上の解釈を自らの都合に合わせて改変したり創作したりして政治的に利用すること。

問3

ヨーロッパ人の東方世界に対する特異な関心と認識、とりわけその中に含まれる根強い偏見や優越感を指す。

問4

(1)

エストニア

ラトヴィア

リトアニア

問5

歴史家も自らの生きている時代の現実や価値観から完全に自由ではないため、私たちは歴史家が提示する歴史像を鵜呑みにせず、できる限り厳密な史料批判と学問的手続きにもとづいて注意深く検証しなければならない。

問6

(1)

①

対ソ干渉戦争

②

湾岸戦争

問6

(2)

選択した番号

①

1918年に英仏両国は、ロシアの反革命派を支援してロシア領に侵入、その後の日本やアメリカのシベリア出兵も含め、内戦と一体となって実施された軍事干渉戦争。22年にソヴィエト政権が退けるまで続いた。

問6

(2)

選択した番号

②

イラクのクウェート侵攻に対して、1991年、国連安全保障理事会の決議にもとづき、アメリカ軍を中心としてイギリス・フランス・アラブ諸国によって組織された多国籍軍が派遣され、イラク軍をクウェートから撤退させた。

問7

侵攻された側が戦争によって国内を結束させ、第三国の軍事的財政的支援を受けることで戦争が長期化した点が類似している。日中戦争の場合、中国が戦争勃発後二ヶ月で国共合作を実現させ、連合国による兵器・物資、財政支援を受けたことで戦争を長期化させた。ウクライナ戦争の場合は、「クリミア併合」を契機にロシアへの敵対路線がウクライナで決定的となり、NATO諸国からの兵器・物資、財政支援を得たことで戦争の継続が可能となった。